## 2.2 津波

本震の後沿岸部を襲った津波は最大で鮎川の 8.6m、浸水面積は市全域 556 k ㎡に対して 73k ㎡で、市内の約 13.2%(平野部の約 30%)におよび、中心市街地は全域が浸水しました。

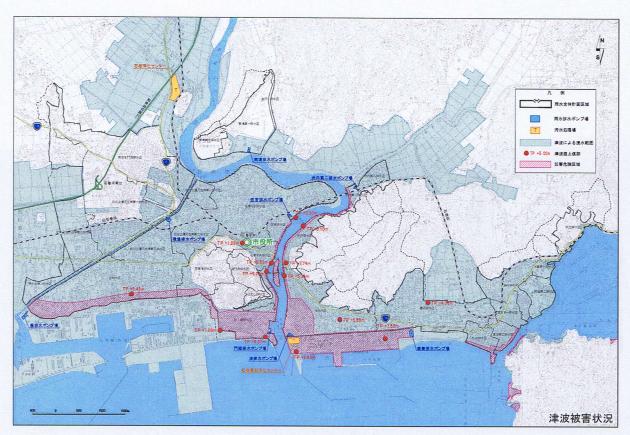


図 2-3 津波被災区域図

津波により多くの命が犠牲になり、沿岸部は瓦礫の山と化しました。



図 2-4 市中心部の津波被害状況(左:大街道付近、右:湊ポンプ場から市街地を望む)

下水道施設も津波による建造物への被害や、浸水のため機器類が利用不能になる等多くの被害を受けました。



図 2-5 雨水施設の被害状況

(左:湊排水ポンプ場(沈砂池に流入した瓦礫)、右:釜排水ポンプ場(放流渠が被災))



図 2-6 雨水施設の被害状況

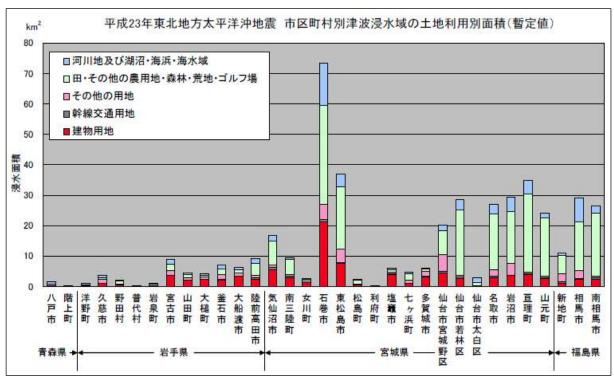
(左:門脇排水ポンプ場(周辺が水没)、右:釜幹線(瓦礫が混入))



図 2-7 石巻東部浄化センターの被害状況(宮城県 HP より)

(左:津波襲来時、右:津波後(重力濃縮槽付近))

下図に示すとおり、都市別の津波浸水面積は、被害を受けた都市の中で石巻市が突出しています。



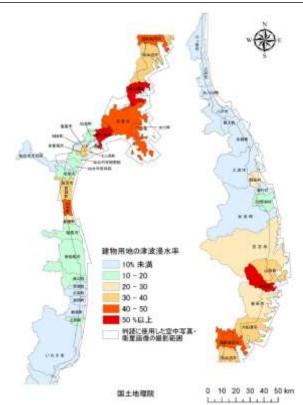


図 2-8 都市別浸水面積の状況(国土地理院 HP より)

また、地盤沈下の影響と排水ポンプ場が被災したことから、市役所がある中心市街地を 含む広範囲の地域において数日間に渡って滞水し、初期救助活動に支障が出ました。



図 2-9 市役所付近の浸水状況

(左:市役所南側:被災1日後、右:西側市民広場とJR線:被災2日後)



図 2-10 石巻駅北側地区の浸水状況

(左:東中里付近で舟による救助活動(被災3日後)、右:水明南地区の排水ポンプ車による排水状況(被災5日後))

市街地に入り込んだ津波による浸水は、3月13日住吉排水ポンプ場の応急的な稼働と、 国交省の排水ポンプ車による排水を実施したことで、順次、解消されました。





図 2-11 国交省の排水ポンプ車による排水(国交省発表資料)